

やまが 市議会だより

第**24**号
12月定例会

令和2年2月1日
発行／山鹿市議会

新春や
市民のために
ワンチーム

も く じ

新年の抱負	2
議会報告会・年間会期予定表	3
行政視察	4
常任委員会審査と報告	5～6
市政のここが聴きたい	7～10
審議結果・賛否表・主な議案・討論	11
議会の主な動き他	12

新年の抱負

本年もよろしくお願ひします

 至誠惻怛 たてやま だいじろう 立山大二郎	 誠心誠意 おがわ えいじ 小川 榮二	 和顔愛語 いもう 茅生よしや	 初志貫徹 せいだ しょういち 勢田 昭一
---	--	---	--

 不拔之志 うどう たつき 有働 辰喜	 雲外蒼天 はっとり かよ 服部 香代	 有言実行 とみた ひろみ 富田 弘海	 一日一生 ながた けん 永田 健
--	--	--	--

 人生一路 とみまる よういちろう 富丸洋一郎	 健康第一 ふじもと たかひで 藤本 峰秀	 泰然自若 きたはら しょうぞう 北原 昭三	 全身全霊 せりかわ まさみ 芹川 正美
--	--	---	---

 敬天愛人 ふじわら ゆたか 藤原 豊	 公直無私 ひら い くにひろ 平井 邦廣	 静観自得 よしもと まさゆき 吉本 政幸	 背私向公 いけだ せいいち 池田 誠一
--	--	--	---

 誠実実行 ほり しげゆき 堀 茂幸	 一生懸命 ながた こうじ 永田 紘二	 自律自助 よこて けいすけ 横手 啓介	 一期一会 てらさき ゆうじ 寺崎 勇児
---	--	---	---

令和元年度 議会 報告会

～開かれた議会を目指して～

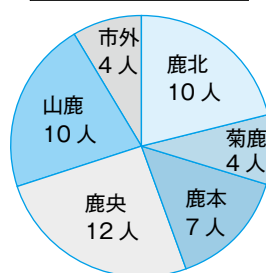
前号の参加者へのインタビューに引き続き、
今号ではアンケートの結果をお知らせします。

- ・議会傍聴と違って、各委員会の詳しい内容が分かり良かった。
- ・自分の住むまちの在り様について、改めて学ぶことができました。
- ・議会BCP、お試し住宅など、聞きなれない言葉が出てきたので、わかりやすくしてほしい。
- ・参加者が少なかったのが残念。

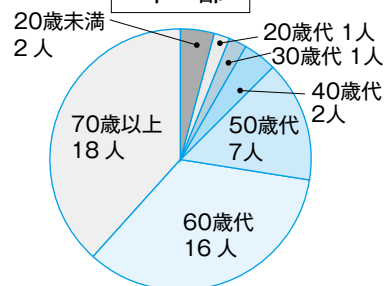


山鹿会場での様子

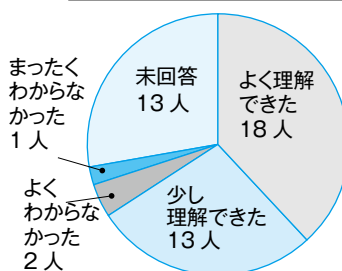
お住まいの地域



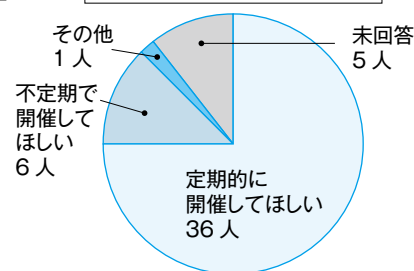
年 齢



報告会の内容について



今後の報告会について



鹿央会場での様子

令和2年 定例会の会期予定表

	3月定例会		6月定例会		9月定例会		12月定例会	
開 会 日	2月26日	(水)	5月29日	(金)	8月27日	(木)	11月26日	(木)
一 般 質 問	3月 3日	(火)	6月 8日	(月)	9月 2日	(水)	12月 2日	(水)
一 般 質 問	3月 4日	(水)	6月 9日	(火)	9月 3日	(木)	12月 3日	(木)
建設経済委員会	3月 6日	(金)	6月10日	(水)	9月 4日	(金)	12月 4日	(金)
市民福祉委員会	3月 9日	(月)	6月11日	(木)	9月 7日	(月)	12月 7日	(月)
総務文教委員会	3月10日	(火)	6月12日	(金)	9月 8日	(火)	12月 8日	(火)
閉 会 日	3月13日	(金)	6月17日	(水)	9月11日	(金)	12月11日	(金)

【注意事項】

- ※年間予定ですので、市の行事、市長会・議長会等の公務、委員会委員の日程調整によって変更となる場合があります。
- ※本会議場での傍聴は定員40名（定員を超えた場合はモニター室）、委員会傍聴の場合、各委員会とも先着12名となります。
- ※各委員会においては、午前もしくは午後に市内の現場を視察する「現地調査（傍聴者の同行不可）」が予定されることがあります。事前に議会事務局（電話43-1634）へ日程のお問い合わせをお願いします。
- ※必要がある場合は、予定表の定例会以外に招集される議会「臨時会」（未定）が開催される場合があります。

先進地の取り組み

～行政視察～

議会運営委員会

10月2日

福岡県嘉麻市「タブレット端末導入による議会運営について」

嘉麻市議会では、議会改革と行財政改革の取り組みのひとつとして、平成26年9月から導入されています。

タブレット端末の使い方及び文書システムを活用した議会や議場での運用について、タブレット端末を実際に手に取り操作しながら、わかりやすく説明していただきました。

タブレット端末には、検索機能や嘉麻市と嘉麻市議会のホームページ、地図機能や災害等が発生した際に利用できるカメラ、招集通知や事務連絡のためのメール機能、議会全体の予定などを事務局でスケジュール管理ができるカレンダー機能などが設定されていました。

通信方法については、Wi-Fi方式だと設備整備に多額の経費がかかるため、LTE方式を採用し、携帯電話と同じような通信エリアで使用できるようにされていました。

文書システムについては、サイドブックスを採用しており、実際に本会議で使われている通知機能やメモ機能などをタブレット端末を使って説明を受けました。

質疑応答では、端末の費用負担についてやクラウドの容量、通信が途絶えた際の対応や費用対効果について質疑を行いました。

山鹿市議会ではタブレット端末の導入を検討しており大変参考になる視察となりました。



嘉麻市役所での視察研修の様子

広報広聴委員会

11月13日

長崎県大村市「議会タブレット端末導入について」

議会タブレット端末導入に関して、先進地の大村市を視察しました。

まず、導入へ至る経緯や、導入するうえでその目的に添った機種を選定過程等について説明を受けました。大村市議会では導入に当たってのルール及び基準の設定を決定するための論議を行ったとのことでした。

また導入後の活用状況や導入のメリットデメリット等の現況を伺い、メリットの効果が多大であったとの説明がありました。

山鹿市議会としても、タブレット端末導入に当たっては、より議論を重ね、使用基準等も検討をし、行政と協議を行いながら、前向きに進めてまいります。



大村市役所での視察研修の様子

常任委員会審査と報告

※委員会の審査報告は、本会議での委員長報告に基づいて、広報広聴委員会で作成したものを掲載しています。

◎は委員長
○は副委員長

総務文教常任委員会

12/13
開催

◎寺崎 勇児 ○服部 香代
平井 邦廣 芹川 正美
富丸洋一郎 勢田 昭一
小川 榮二

児童・生徒の九州大会、全国大会出場への補助率は

◆付託案件
議案5件：可決

◆主な審査内容

令和元年度山鹿市一般会計補正予算(第4号)

問 九州大会・全国大会出場への補助率は

答 学校の教育活動に関する大会については、旅費・宿泊費等必要経費の100%を補助している。その他、学校教育活動に準ずるような大会については、50%の補助をしている。

問 県大会出場への補助率は

答 右記と同じ基準で補助している。

現地調査

○平小城小学校

2年生と3年生の複式学級の授業状況を参観し、複式学級のメリット・デメリットの説明を受けた。

○山鹿市カルチャースポーツセンター
市民球場劣化状況について調査した。



平小城小学校



山鹿市民球場

市民福祉常任委員会

12/12
開催

◎堀 茂幸 ○吉本 政幸
永田 紘二 藤本 峰秀
有働 辰喜 芋生よしや

介護保険事業の今後は

◆付託案件
議案5件：可決

◆主な審査内容

令和元年度山鹿市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)

問 保険給付費約3億7千万円の補正額は、約一か月分に相当するが、多くはないか

答 施設利用等に係る給付費が伸びたため。

問 認定者数の過去3年間の推移は、さほど多くないようだが、今年度の状況は

答 例年、一年間で50名程度の増だが、8月末時点で50名弱の伸び。要支援1、要支援2は減少傾向だが、介護1、介護2が若干伸びている。

問 当初予算で見込むことは難しいのか

答 冬場に利用者がさほど減少せず、当初予算の推計以上となった。

問 補正額の財源は

答 市は繰出金と基金の取り崩しを行い、補正予算に合わせて国庫の交付金を充てる。

問 3年ごとの改定で保険料を下げたが、今年度は増加補正となった。総合的な対応が必要では

答 給付費の動きに注視し、今後の計画に反映していきたい。基金は令和元年度まで十分に対応できる。

問 次期改定で保険料は上がると認識すべきか

答 第8期計画が令和3年度のため、今年度調査し計画策定して、保険料も精査していくこととなる。

現地調査

○認知症共同生活介護事業所「ゆとり」(菊鹿町)

3施設併設で、市内在住者向けのグループホーム「ゆとり」は入居から看取りまで、小規模多機能ホーム「音色」は通い・泊まり・訪問に対応。有料老人ホーム「そよ風」は市外者も受け入れている。人材不足が課題。

○地域活動支援センター(NPO法人ブレス)(菊鹿町)

知的、身体、精神障がい者の自己決定を最大限尊重し、作業訓練・指導を通して勤労意欲、忍耐力、協調性を養い夢の持てる社会的自立を目指し支援している。



地域活動支援センター(NPO法人ブレス)



認知症共同生活介護事業所「ゆとり」

市政のこころが聴きたい(1)

行政視察・常任委員会審査と報告(2)

審議結果・賛否表 主な議案・討論

建設経済常任委員会

12/11
開催

◎富田 弘海 ○北原 昭三
横手 啓介 池田 誠一
藤原 豊 立山大二朗

経済基盤の整備!

◆付託案件
議案4件…可決

◆主な審査内容

山鹿市水道事業の設置等に関する条例
の一部を改正する等の条例

問 簡易水道事業を水道事業に統合
するに当たり、料金や管理に変更
はあるか

答 統合による料金改定などは予定
していない。将来的には近隣自治
体や水道事業の今後を鑑みて検討
する。

令和元年度山鹿市一般会計補正予算
(第4号) 中所管

問 アフリカ豚コレラ侵入防止緊急
支援事業の内容は

答 市内養豚業者5件全てに防護柵
を張るための支援事業。

問 東京2020オリンピック聖火
リレー関連経費の内容は

答 聖火リレーの運営や、さくら湯
前で予定しているミニセレブレー
ションの実施に必要な経費である。

現地調査

○本多久原線道路改良工事(鹿北町)

見通しが悪く法面崩落等の危険性があることなどによる改良工事

○豊前街道南線舗装改修工事

さくら湯前の道路の痛みが激しかったことによる舗装改修工事

○豊前街道歴史的まちなみ再生事業

空き家、空き店舗等を活用して新規
出店する際の店舗改修への支援。

○がんばる商店街支援事業

中町商店街が実施する、小路多角的
広場の整備に対する支援。



▲ 本多久原線道路改良工事



▶ 豊前街道南線舗装改修工事

行政視察

建設経済常任委員会

10月21日～23日

岩手県平泉町「訪日外国人観光
客の受入環境整備について」

外国語対応のパンフレットや音声ガイ
ドを整備し、英語ができる職員採用を
進め、東北観光推進機構へ24時間
対応の相談を可能としている。秀衡塗
や藍染体験など、高級志向の外国人観
光客に提供できる商品を開発。バスツ
アーの実施、市営駐車場の整備に取り
組んでいる。

宮城県石巻市「災害復興状況に
ついて」

「いしのまき元気いちば」や「石ノ
森美術館」など観光に力を入れている。
震災遺構として保存される旧門脇小学
校や近隣地区の被害状況に視察者の皆
が慄然とした。津波の被害を繰り返し
訴え、防災訓練では「まず避難」を強
調している。

岩手県紫波町「オガールプロジ
ェクトについて」

町民の聞き取りや大学・企業との連
携により、農業や子育て等を学べる図
書館をはじめ、ホテルやバレーボール
専用体育館、フットボールセンター、
カフェ、産直マルシェ、レストラン、
バーベキュー施設、児童一時預かりな
どの複合施設を開設。同地区へ町役場
新庁舎の建設や宅地開発を推進し、年
間100万人が訪れる。



岩手県紫波町



宮城県石巻市



岩手県平泉町

市政のここが聴きたい!



こちらの
QRコードからご覧いただけます。

インターネット録画配信をご覧いただけます。

山鹿市
ホームページ

→ 市議会
一覧

→ 定例会の
様子

の順にクリックしてください。



ながた こうじ
永田 紘二 議員

バイオマスセンターについて

- 質問** ①設立からの経過について
②これまでかかった費用について
③市長の思いについて

答弁 ①②経済部長 ③市長

- ①平成15年度にバイオマスフロンティア整備事業計画策定、平成16年7月着工、翌年10月供用開始。平成24年生ごみ処理機を設置し運用開始。平成28年度から家庭系生ごみの受入停止。令和3年3月末でセンターでの糞尿の受入終了。
- ②建設費用は10億2,700万円（実質負担額8,554万5千円）、生ごみ処理機6,426万8千円（実質負担額366万8千円）。運営管理費は支出が平成17年度から14年間の累計で6億7,226万3千円、収入は累計で2億6,537万1千円となっている。

- ③課題解決や畜産農家の育成のためバイオマスセンターの事業に取り組んだ。その後、課題に対する議員の方々から意見をいただき、いろいろ検討する中で長期的に事業を展開することは困難で区切りという判断をした。熱い思いを持ち、事業を行ってきたが中止、方向転換、補助金返還に至ることは残念で忸怩たる思いをしている。

通学路の安全対策の取組みについて

答弁 教育部長

これまでも各学校で交通安全指導の徹底を日常的に行うとともに、毎年8月に関係機関と連携し、通学路の合同点検を行い、危険箇所の解消等、通学路の安全確保及び安全対策に努めている。また、地域の連携の場として、山鹿地区学校等警察連絡協議会で、通学路に関する情報交換等を行っている。

今後も、児童生徒への指導、地域の見守りボランティア等との連携を強化し、地域全体で児童生徒の安全を見守る取り組みを充実することで、日々変化する道路交通事情に対応していきたい。

市民の声が生きる市政について

質問 「事前説明が不足している、決まってからの報告だった」とする市民との認識の違い、説明責任の見解が、職員に十分伝わっていると考えるか

答弁 市長

説明の不備がなかったかの反省を含め、真摯に受け止め、十分かつ丁寧な説明を行うよう職員に徹底させる。

質問 判断の結論だけでなく、その根拠とプロセスを明確にする。主権者たる住民に、意思決定の見える化を行うことが必要
さらなる住民参加・参画に向けできることは

答弁 市長

市民と行政の協働によるまちづくりが大変重要。計画や施策の形成過程で、さらなる情報公開、進捗状況を明らかにする。市民公募委員の募集方法の見直し等、参画しやすい環境を工夫する。

都市計画税について

質問 市街化区域に土地・建物を所有している人だけが納めている都市計画税、その都市計画事業、今後は

Net119緊急通報システムの導入に対する進捗状況について

質問 令和2年4月1日からのNet119緊急通報システムの運用に向けて現在の進捗状況は

答弁 消防長

山鹿市消防本部でも、このNet119緊急通報システムの運用を令和2年4月から開始する。現在、そのシステムを運用するに当たり、準備を進めている段階である。



質問 Net119緊急通報システムの登録方法、利用方法の説明はどのようにするか

答弁 消防長

令和2年3月に市民の皆様に対し説明・登録会を予定している。これに向け周知方法として「広報やまが」やホームページに掲載し、説明登録会の案内書及び申込書を各家庭に配布する準備をしている。

ピロリ菌検査事業について

質問 令和2年からの中学2年生を対象としたピロリ菌検査は実施と考えていいか

答弁 教育部長

山鹿市においては、中学2年生を対象とした尿検査によるピロリ菌検査を実施することが望ましいという

いもう
茅生 よしや 議員



答弁 建設部長

都市施設の早期整備が図られ、居住環境の改善や土地利用の増進に寄与してきた。今後は人口減少や地方経済の縮小といった課題対応、都市コンパクト化推進、整備更新等を図るため十分な検討の上取り組んでいく。

質問 役割が終わった、不公平だとして廃止している自治体がある。説明責任を果たし、見直し・廃止の検討をするべきではないか

答弁 市長

十分に議論を深める一方、持続可能で安定的な財政運営の財源として、住民の意見、受益者負担の在り方、税負担の公平性など勘案し判断していく。

※この他に、「加齢性難聴者への補聴器購入補助」、「命を守るための安全教育について」を質問した。

きたはら しょうぞう
北原 昭三 議員



方向性を持っており、現在、学校現場の体制整備や啓発活動などの準備を行うとともに、検査の実施に向け、検査過程における役割分担等について、関係機関との調整を行っている。

高齢者支援について (自動車運転免許証返納者への特典は)

質問 運転免許証の返納に対する特典について何か検討されたことはあるか

答弁 市長

高齢者の生活支援に関する施策は、本市においても重要課題の一つであり、今後ますます高齢化が進む中、交通手段に限らず様々な支援が求められている。

そのため、自動車運転免許証返納者への特典や地域生活交通のあり方も含め、総合的な観点から有効策を検討する。

※この他に、「骨髄移植後のワクチン再接種への助成について」を質問した。



うどう たつき
有働 辰喜 議員

水防法・土砂災害防止法一部改正関連について

質問 防災のために処理すべき業務などを具体的に定めた、山鹿市地域防災計画の作成時期と、計画の公表はされているのか

答弁 総務部長

合併当初の平成17年6月に作成、以後必要に応じて更新、本年5月更新が最新版である。現在公表は閲覧のみだが、市民への周知のため速やかに市ホームページでの公表を行っていく。

質問 法改正により、避難確保計画が義務付けられた浸水想定区域内と土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設の数と官民施設数、計画作成状況は

答弁 総務部長

浸水想定区域内21施設で公営は6施設、土砂災害警戒区域内7施設で公営は4施設、全28施設中作成済み

は1施設である。今年度中に管理者向け説明会を開き、作成を促す。

災害時避難への対応について

質問 菊池川の洪水被害が発生した場合、浸水想定区域内の想定避難者数と避難所受け入れ人数は

答弁 総務部長

本年10月末のデータで、浸水想定区域内の全住民が避難した場合、32行政区3,193世帯7,429人が対象となり、市の指定避難所32か所、最大収容人員22,718人で全員の収容が可能である。

自主防災組織について

質問 自主防災組織や行政区、校区によるマイハザードマップ作成は、防災上有効策と思うが、山鹿市での作成実績と活用状況、市の今後の取り組みは

答弁 総務部長

宗方地区・長坂地区・大道校区・川北地区で作成、活用法は地区で異なるが好評だと聞いている。未作成地区の自主防災組織の防災訓練の一環として作成を促すことも検討している。



せいだ しゅういち
勢田 昭一 議員

住民説明会について

質問 住民説明会はどういう時に開催するか

答弁 総務部長

「住民説明会」は、地域住民や関係機関・関係団体に対して事業概要や制度内容を説明し、意見を伺うことを目的としている。

具体的には、それぞれの事業内容に応じて、開催時期や場所、主催者側の範囲、対象者の範囲などをその都度決定し、行っている。

また、説明会と併せて、必要に応じ市ホームページに審議会・委員会・協議会等の開催状況を掲載したり、パブリックコメントでの意見募集、出前講座を行っている。

嘱託員の形態・今後について

質問 嘱託員制度が本年度で廃止となるが、市と地域をつなぐ方策は

答弁 市民部長

地方公務員法の改正に伴い、今年度末で嘱託員は廃

止となり、特別職に属する地方公務員としての身分ではなくなる。しかしながら、市政の円滑な運営、市民の福祉増進のために、引き続き行政と地域をつなぐ役割は必要不可欠と考える。廃止後については、山鹿市嘱託員連合会役員と協議を重ねているところである。「嘱託員」に変わり「行政協力員」として、業務委託契約を行うことで、これまでと同様の役割をお願いしたい。

菊池川流域日本遺産の今後の展開について

質問 今後の展開、担当部署は

答弁 市長

「新シルク蚕業構想、菊鹿ワイナリー構想、山鹿灯籠ジャパンプランド構想」の3本の柱と日本遺産の取り組みを、経済部内の「ふるさと未来総室」に集約し、一体的に推進する役割を担わせる。



3市1町による日本遺産田植えリレー（菊鹿小学校）

水辺プラザかもとの指定管理等について

質問 水辺プラザかもとを指定管理対象とした経緯は

答弁 経済部長

水辺プラザかもとは、産業振興施設であり、民間の運営ノウハウの導入で市民サービスの向上や効果的な運営が期待できる施設として指定管理の対象とした。

質問 (株)鹿本町振興公社への市の対応は

指定管理者の募集においては、継続的かつ安定的に同一の管理が望ましい施設として、「公募」ではなく、「非公募」とした。本市の第3セクターについては、将来の方向性として民営化を目指すこととして、体力強化、経営の安定化を図り自立経営が見込めるよう、市は指導、助言などの支援を継続する。

水辺プラザかもと



とみまる よういちろう
富丸 洋一郎 議員



質問 指定管理納付金を定めた経緯は

答弁 経済部長

開業当初から利益の一部を寄附金として町に納められ、指定管理導入以降は鹿本町振興公社の提案により、基本協定書に納付金に関する内容が盛り込まれたが、現在は協定書から納付金の記述は外されている。

防災体制強化について

質問 避難所の利用状況（令和元年7月22日豪雨等）

答弁 総務部長

7月初めの大雨や台風5号、8月末の大雨や台風8号及び10号、9月の台風17号と、大雨や台風の接近時に合わせて6回、健康福祉センターを含め計6施設を自主避難所として開設。避難者の状況については、最大で8月14日からの台風10号で43名の市民の方が、最少は8月27日の豪雨で僅かに1名の方が避難された。

質問 山鹿市防災マップの利活用は（洪水ハザードマップ等）

- ①自主防災組織での防災マップの利活用は
- ②外国人に向けた防災マップの作成は
- ③各地区で作成するマイハザードマップの情報提供や、インターネットの対応は

答弁 総務部長

①防災マップは、自然災害による被害を予測し、その被害の範囲を地図化したもので、住民の方々が平時より災害リスクを認識したうえで、災害発生時の危険箇所や避難場所について正確な情報を把握し、迅速・的確に避難する際に役立ててもらうことを目的に、平成29年3月に全戸配布を行うとともに、市ホ

たてやま だいじろう
立山 大二郎 議員



ームページにも掲載。複数の自主防災組織において研修会等を開催するときのテキストとしての使用や、地区内の危険箇所等の点検や地区内の防災活動の際に利活用されている。

- ②就労者や観光での滞在者など、外国の方も避難行動要支援者であることから、外国語表記の避難所等を示した地図や避難行動に関するチラシ等を作成して市民課の窓口に加え、市ホームページへの掲載を検討する。
- ③各地区で作成されたマイハザードマップについては、災害等の発生時に役立つ固有の情報等も多く掲載されていることから、画像データ等を市ホームページに掲載することは可能であると考えますが、防災以外の目的に利用されかねない、個人の特定につながる情報が記載されていることなども考えられるため、掲載にあたっては、こうした点をクリアしたうえで、あらかじめ関係者の同意を得るなど、今後、自主防災組織と綿密に協議・調整したい。

令和元年(第3回)12月定例会審議結果および賛否一覧

○は賛成 ●は反対 欠は欠席 (議長は採決には加わりません)

議 案 等 番 号		議 員 名 (議席順)	議 決 結 果	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
				立 山 大 二 朗	小 川 榮 二	芋 生 よ し や	勢 田 昭 一	有 働 辰 喜	服 部 香 代	富 田 弘 海	富 丸 洋 一 郎	藤 本 峰 秀	北 原 昭 三	芹 川 正 美	藤 原 豊	平 井 邦 廣	吉 本 政 幸	池 田 誠 一	堀 茂 幸	永 田 紘 二	横 手 啓 介	寺 崎 勇 児
議案 第38号	山鹿市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例及び山鹿市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例(令和元年度山鹿市一般会計補正予算(第2号))	可 決	欠	○	●	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第39号	山鹿市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可 決	欠	全会一致							欠	全会一致										
議案 第40号	山鹿市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	可 決	欠	全会一致							欠	全会一致										
議案 第41号	山鹿市下水道条例の一部を改正する条例	可 決	欠	全会一致							欠	全会一致										
議案 第42号	山鹿市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する等の条例	可 決	欠	全会一致							欠	全会一致										
議案 第43号	山鹿市水道事業給水条例の一部を改正する条例	可 決	欠	全会一致							欠	全会一致										
議案 第44号	山鹿市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例	可 決	欠	全会一致							欠	全会一致										
議案 第45号	令和元年度山鹿市一般会計補正予算（第4号）	可 決	欠	○	●	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第46号	令和元年度山鹿市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	可 決	欠	全会一致							欠	全会一致										
議案 第47号	令和元年度山鹿市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	可 決	欠	全会一致							欠	全会一致										
議案 第48号	令和元年度山鹿市病院事業会計補正予算(第2号)	可 決	欠	全会一致							欠	全会一致										
議案 第49号	熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について	可 決	欠	全会一致							欠	全会一致										
議案 第50号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意	欠	全会一致							欠	全会一致										
議案 第51号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意	欠	全会一致							欠	全会一致										
議案 第52号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意	欠	全会一致							欠	全会一致										
議案 第53号	人権擁護委員の推薦について	同 意	欠	全会一致							欠	全会一致										
議案 第54号	人権擁護委員の推薦について	同 意	欠	全会一致							欠	全会一致										
議案 第55号	人権擁護委員の推薦について	同 意	欠	全会一致							欠	全会一致										
意見書案 第 2 号	豚コレラの早期終息に向けた緊急かつ具体的な対策を求める意見書	可 決	欠	全会一致							欠	全会一致										

反対討論

芋生よしや議員

議案第38号
議案第45号
議員、市長等の期末手当引き上げは、平成30年3月、12月に続き3回目である。
実質賃金はマイナス成長。働く世代は非正規や、ダブル・トリプルワークさえ余儀なくされ、ボーナス支給もない方がいる。年金額減少、消費税増税によって消費が伸び悩み、暮らしも商売も一層厳しさを増している状況での、引き上げは市民の理解が得られない。
地方公務員と民間給与は連関するもので、消費購買力を引き上げるためにも、職員給与引き上げは賛成するが、議員報酬額は、自治体の予算や条件を基礎にして決定されるべき。
市民の代表である議員、市長等特別職の期末手当引き上げではなく、その財源を市民のために使うことを求め反対とする。

主な議案

議案第45号
令和元年度山鹿市一般会計補正予算(第4号)
補正前の額…306億 287万4千円
補正額…1億3547万7千円
補正後の額…307億3835万1千円
〈主な内容〉
○介護保険事業特別会計繰出金
介護給付費の増加(介護報酬単価の改定及び介護サービス利用者の増加)に伴う法定負担など。
○東京2020オリンピック聖火リレー開催費
東京2020オリンピック聖火リレーの準備及び開催に係る経費。熊本県実行委員会への負担金。
○教科書改訂(小学校) ……5470万1千円
令和2年度からの教科書改訂に伴う教師用教科書等の購入費。

議会の主な動き

10月

- 2日(水) 議会運営委員会行政視察
灯籠祭を考える会30周年記念祝賀会
- 4日(金) 広報広聴委員会
- 6日(日) 鞠智城シンポジウム
- 8日(火) 熊本県防災・危機管理トップセミナー
- 9日(水) 広報広聴委員会
- 12日(土) 水俣市市制施行70周年記念式典
- 15日(火) 熊本県市議会議長会
広報広聴委員会
- 17日(木) 全員協議会
- 19日(土) 第24回消防フェスティバル
- 20日(日) 鞠智城の日
- 21日(月) 建設経済委員会行政視察(～23日)
- 26日(土) 第12回火の国ボランティアフェスティバル
- 27日(日) 鹿北茶山唄全国大会
鹿央ふるさと祭り
- 28日(月) 百歳到達者表敬訪問(3名)
- 29日(火) 森林・林業・林産業活性化九州大会
- 30日(水) 全国市議会議長会研究フォーラム(～31日)

11月

- 3日(日) 山鹿市芸術文化祭総合開会式
- 5日(火) 清浦奎吾伯墓前祭
広報広聴委員会
- 8日(金) 全国市議会議長会産業経済委員会
- 13日(水) 県北6市議会議長会
広報広聴委員会行政視察
- 16日(土) かほくまつり(～17日)
山鹿文化財を守る会設立50周年記念式典
- 21日(木) 百歳到達者表敬訪問(5名)
- 22日(金) 議会運営委員会
- 23日(土) 石の風ぐるま友好都市交流事業(～24日)
- 25日(月) 国道443号県道と仁山鹿線玉名八女線期成会
- 29日(金) 12月定例会開会・全員協議会・広報広聴委員会
- 30日(土) 2019女子ハンドボール世界選手権大会(～12月15日)

12月

- 1日(日) 民生・児童委員退任式並びに委嘱状交付式
- 9日(月) 12月定例会質疑・一般質問
- 10日(火) 12月定例会質疑・一般質問
- 11日(水) 建設経済常任委員会
- 12日(木) 市民福祉常任委員会
- 13日(金) 総務文教常任委員会
- 17日(火) 議会運営委員会
- 18日(水) 12月定例会閉会・全員協議会・広報広聴委員会
- 19日(木) 百歳到達者表敬訪問(2名)
- 28日(土) 年末警戒巡視

行政
視察

ようこそ山鹿市へ

10月18日 茨城県鉾田市

山鹿市民交流センター及び市庁舎の建設事業について・市民交流センターの運営状況及び利用状況について

10月29日 石川県七尾市

認知症地域支援体制の構築事業について

10月31日 栃木県那須塩原市

やまがメイトを活用した行政情報等の配信について

11月1日 北海道石狩市

認知症地域支援体制の構築事業について

11月6日 茨城県常陸太田市

窓口業務民間委託について

11月14日 兵庫県赤穂市

窓口業務民間委託について

11月19日 広島県三原市

認知症地域支援体制の構築事業について

11月21日 兵庫県稲見町

認知症地域支援体制の構築事業について

12月19日 岩手県一関市

一般廃棄物処理施設整備事業について

【人事案件】

〈固定資産評価審査委員会委員〉

市長から提出された「固定資産評価審査委員会委員の選任」については、次のとおり同意しました。

山鹿市中	中山 俊治氏
山鹿市鹿北町	野中 弘樹氏
山鹿市鹿本町	由富 順子氏(新任)

〈人権擁護委員〉

市長から提出された「人権擁護委員の推薦」については、次のとおり同意しました。

山鹿市南島	有働 真澄氏(新任)
山鹿市鹿本町	木村 厚男氏(新任)
山鹿市蒲生	松山みずえ氏(新任)

編集後記

令和になって初めてのお正月を迎えました。子どもたちへつないでいく未来はどんな時代になるのか、どんな時代を作っていくのかは私たち大人の責任です。令和元年は世界中で地球温暖化対策への関心が高まりました。未曾有の規模の自然災害の多発との関連は明らかで、温暖化を食い止めること、今の環境を維持することは地球全体で取り組まねばならないことです。

変わらないことも大事ですが、変わらなければならぬこともあります。

議会改革もその一つ。山鹿市議会でも開かれた議会を目指して様々な改革に取り組んできました。さらに令和二年度にタブレット端末を導入するために準備を進めています。ペーパーレス化も図れますが、様々な機能を使い議会活動に役立てていく所存です。

多くの分野でICT化が進んでいます。が、議会も行政も大きな転換期に入ったのだと実感しています。しかし、どんなAIやロボティクスが導入されたとしても一番大切なのは対話だと思っています。市民の皆様を中心に据えて議会も行政も対話型で市政運営ができるよう努力したいと気持ちを新たにしました令和二年のお正月でした。

広報広聴委員会 服部 香代